



ワニノからナターリヤさんが再来！

I.I.A.



昨年8月、ワニノ市郊外でのバーベキュー・パーティーでのナターリヤさんと、浴衣姿がとても可愛い娘のカーチャちゃん。ふたりはとっても仲良しです。

「こんには！ 事務局の大森です。協会事務局員になってからこれまで、ぜひ一度お会いしたかった方がいました。日本文化センター「はまなす」のセンター長、ソボレバ・ナターリヤさんです。

当協会の名譽会員でもある越沢幸三さん（98歳）がシベリア抑留者の遺骨発掘作業を始められた頃から、日本とロシアの平和と友好へご協力くださっています。

日本との友好をテーマにした演劇やファッショントショー、娘のカーチャさんは日本の歌謡曲を披露してくれました。石狩からの訪問団の皆さんたちもとても喜んでいました。

昨年の石狩での姉妹都市提携15周年記念事業開催の折には、残念ながら来石が叶わなかつた彼女を今年の9月に石狩へご招待しよう！ と現在、ワニノ友好部会を中心に行委員会を立上げ、準備を進めています。

9年ぶりの来石をナターリヤさんご本人も心から楽しみにしているそうです。たくさんの方々が笑顔で迎えましょう♪

2009.7

活動の様子がパソコンで見られます

『はーとふる』では、協会が行っているものだけでなく、石狩市内の国際交流、国際協力などの活動を広くご紹介していきたいと思います。

そんな活動の様子が、パソコンを使用した「インターネット・テレビ」でご覧いただけます！！

お持ちのパソコンを立上げ、インターネット検索サイト（MSN、ヤフー、グーグル等）で、「えりすいしかしネットテレビ」を検索するとすぐに見つけられますよ。

国際交流は、チャンネル「石狩ぐらし」で紹介されています。ぜひこの機会に、『動く』活動のようすをご覧ください。



HPアドレスは
<http://www.i-eris.tv/usFirst.do>

7月以降の協会の活動予定は…

- ★ 7月12日～22日まで、全米各地からの高校生12人が石狩市内とその近郊でホームステイ。浜益奴道中参加ほか。
- ★ 8月中旬、キャンベルリバーから1年間の交換留学生2人が来石。
- ★ 11月15日、北コミュニティセンター。協会主催最大イベント！ 「ワールドフェスティバル」開催。

「はーとふる」へ皆様からの投稿もどしどしお寄せください！

◆日本語ボランティア募集中！◆

●はーとふる編集・発行●
NPO法人石狩国際交流協会広報部
TEL/64-5931 FAX/64-5932

新！ 事務局長紹介

星事務局長の後任として、今春4月から新しく工藤泰雄さんが事務局長席に座っています。初仕事となるヤングアンバサダーの受入では、はつび姿でもちつきの段取りをしたり、さよならパーティーのゴミ分別をしたりとフルツトワークの軽さは抜群です。

1年半、浜益区の部長を務めてらつしやつた工藤局長。「浜益は本当にいいところです。皆で浜益へ行きましょう！」とのこと。これから来石する外国人の方へも合併後になりますます増した石狩の魅力を紹介してくれると思います。

Fair Trade

フェアトレードで 国際協力しませんか！



このたび石狩国際交流協会では、この刺繡製品の展示・販売を開始しました。ぬくもりあふれる



フェアトレードで国際協力！
「ベトナムの『子どもの家』を支える会」

菊清美さん

協会では、今後も機会あるごとにフェアトレード品のご紹介をしていきたいと考えています。

ベトナム・フエ市の、ストリート・チャイルドレンの自立支援施設「子どものかい」では、卒園生が刺繡店を開いて、収益を活動資金にあてています。

ベトナム・フエ市の、ストリート・チャイルドレンの自立支援施設「子どものかい」では、卒園生が刺繡店を開いて、収益を活動資金にあてています。

細やかな手刺繡は見ているだけでも和みます。しおり一枚350円からちょっととしたギフトにもおすすめです。

フェアトレード品のご紹介をしていくことを、今後も機会あるごとにやっていきたいと考えています。

◆ 10月7日から14日まで石狩市民図書館で「子どもの家」の子どもたちが描いた絵の展示会を開催します。ぜひお越しください。



ヤングアンバサダーたちのお土産にプレゼントされた吊るし雛。留学生のホストファミリーをするお母さんたち「ちくちくクラブ」の作品です。

ヤングアンバサダー
もう一つのストーリー

4月9日から14日まで12回目の受け入れとなるヤングアンバサダーの訪問がありました。シャペロン（引率者）を含め28人の訪問団が、学校の体験入学や餅つきなど、短い時間の中で様々な交流していました。

今回シャペロンとしてお子さん（シェルトンくん）とともに来石したリサ・ジャラットさんは、実は1987年の初代ヤングアンバサダーでした。そのとき滞在した

家庭の娘さんが、翌年のアンバサダーとして、今度はリサさんの家に滞在したのです。

時は流れ、お二人ともそれぞれの家庭を持ち、娘さんは現在沖縄にお住まいで。しかし、今もその交流は続いています。リサさんは今、彼女に会うために沖縄への旅を計画中です。リサさんにとって彼女は「ホームステイ・シスター」なのです。

今回のヤングアンバサダー、シェルトンくん、そして関わつてくださった皆様にも、きっと新たなドラマが生まれることでしょう。

「私と彼女がでافتتのは2人とも14歳のときでした。それからずっと、お互いを大切に思いました。連絡をとりあつてきました。現在私たちには同じ年頃の子どもがおり、子どもたち同士も次回会うことをとても楽しみにしています。」
(リサ・ジャラット)

発途上国を実際に訪れたことは、深く印象に残っています。5年ぶりの石狩、どこに何があるかも覚えているし、大きく変わった印象はないけれど、知人が結婚していたりと、月口の流れを感じます。

□7月に、カナダに戻る予定なんですね。

■はい。帰国後は大学に進み、政治、経済を学びたいと思っています。まだ宗教にも興味はあるけれど…。ゆくゆくは政府の機関で、国際関係の仕事をしたいと思っています。

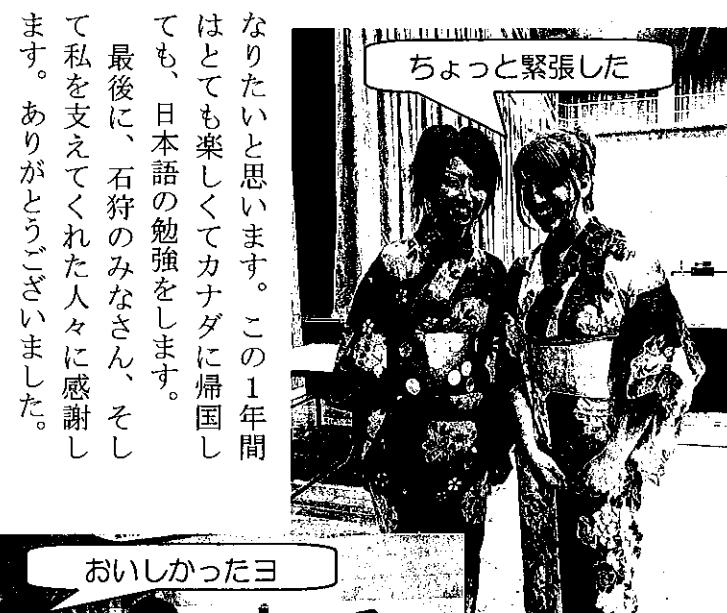
留学時から志していたライフプラン、ぜひ実現させてほしいですね。

1年間の留学生活を終えカナダに帰国するアリエル・トレゴさんからのメッセージです。

私は去年の8月、日本に来ました。石狩は2回目です。1回目は3年前にヤングアンバサダーで4日間滞在しました。そのときから「日本にもう一度行ってみたい」と思つていきましたので、1年間留学することにしました。

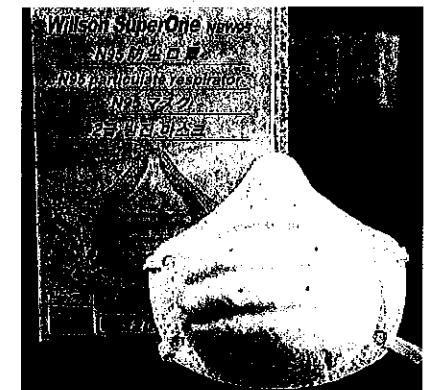
来たときには日本語や日本の文化は全然分からなかつたのに、石狩のみなさんはとても優しくて、日本のこと教えてもらいました。将来、日本にもう一度来てALTに

Thanks to Ishikari!



彭州市からのお見舞い

～新型インフルエンザ～



世界的に感染が拡大している新型インフルエンザ。日本での感染拡大を心配し、彭州市から石狩市へお見舞いのメッセージとマスクが1,000枚送されました。昨年の四川大地震では、石狩からテントと義援金を彭州市に送っています。彭州市では、現在も施設の再建は厳しい状況にあるのですが、今年の10月までに、損壊した住居、学校、病院の再建を完成させたいとのことです。



ゴードンのライフプラン

2004年の留学生、ゴードン・ボブリック君が石狩に遊びに来ています。彼の留学後と、これからの歩みについて聞いてみました。

□まだ日本語が上手だね!。
■カナダにいる時も、インターネットでよく日本の番組やアニメを見て、日本人に積極的に話しかけて、できるだけ日本語に親しむようにしてました。

□留学後、5年ぶりの石狩になるけど、これまで何をしていたの?
■高校を卒業して、大学に進学するか、再び外国に行くか、2つの選択肢がありました。僕は外国の道を選択しました。去年の10月にオーストラリアへ行って、洗車のバイトをしながらお金を貯めて、その後インドネシアに1か月滞在しました。開